



福岡リート投資法人

第 42 回福証 IR フェア オンラインの質疑応答要旨

開催日時：2023 年 7 月 14 日（金）15：00～15：50（ZOOM によるオンラインセミナー）

時間の関係上、当日回答できなかったご質問に関しては以下のとおりです。

Q1 アフターコロナで、商業施設にも人出が戻って来ていると聞きますが、福岡リートが所有している商業施設では、人出はコロナ禍前のどれくらいまで戻っていますか？

A1 全体として商業施設の売り上げは回復基調にあります。コロナ禍前の 2018 年と比較した 2023 年 5 月の施設の売上高は、キャナルシティ博多において 75%弱、パークプレイス大分、木の葉モール橋本、サンリブシティ小倉においてほぼ 100%の水準まで回復しています。特にキャナルシティ博多は、昨年 10 月以降、「全国旅行支援」や「水際対策の緩和」などにより、広域集客やインバウンドの回復（特に韓国のインバウンドの回復）傾向が顕著になっています。今後、足許回復が見られない中国のインバウンドにより、施設の売上がさらに回復することを期待しています。

また、延伸開業した地下鉄七隈線の「櫛田神社前」駅の新駅効果により、施設への来場者数が増加しています。

-----

Q2 4月に取得したアクション別府駅前プレミアムの稼働率が半分以下ですが、入居者の募集状況はいかがでしょうか？進捗について教えてください。

A2 足許の稼働率は 50%を超えました。現在、閑散期ですが、PM 会社と協力しながら入居促進を進めている最中です。本物件が所在している福岡市城南区は、人口及び世帯数も堅調に推移しているエリアです。最寄り駅である地下鉄七隈線「別府」駅は延伸により、アクセスがさらに良くなり、今後も住宅エリアとしての成長が期待できます。

-----

以上



※本資料には、将来の業績、計画、又は経営目標、戦略などが記述されている箇所があります。これらの将来に関する記述は、福岡リート投資法人及び株式会社福岡リアルティの現時点での判断に基づくものであるため、福岡リート投資法人の将来の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。したがって、福岡リート投資法人及び株式会社福岡リアルティは、本資料及び本資料に基づく説明をもって福岡リート投資法人及び株式会社福岡リアルティの業績を保証するものではありません。また、福岡リート投資法人及び株式会社福岡リアルティは、信頼できると考えられる情報に基づいて本資料を作成しておりますが、内容の正確性、妥当性又は完全性を保証するものではありません。本資料の記載事項は全て資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更する場合がありますので予めご了承ください。本資料は、皆様に対する情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動の勧誘するものではありません。投資にかかる最終決定は投資価値の減少など投資に係るリスクを十分にご認識、ご理解の上、投資家ご自身の判断と責任で行うようお願いいたします。